人と地域を育む愛宕の里　せきもと

令和３年秋号　（第10号）

里づくり せきもと

発行：せきもとさとづくり推進協議会

活動報告

女性セミナー

ボランティア活動を実施

９月21日、メンバー十一人が参加して、交流館内部の清掃ボランティア学習をおこないました。

窓ガラス拭きと玄関に備えてあるスリッパ拭きとの二つの班に分かれての作業です。

ガラス拭き班は、大きなガラスに向かい流石、清掃ベテランの方々で手際良く磨き上げていました。スリッパ班も長年の汚れを黙々と、それはそれは丁寧に落としていました。中には破損したものもありましたが、最後に除菌をしっかりと行い作業は終わりました。

平成16年からの歴史を感じる作業でした。これから交流館を利用する方々には気持ちよくご利用いただけることでしょう。

パークゴルフを覚えよう

10月19日、セミナーの第5回目は粟野にある「梁川パークゴルフ場」での体験学習となりました。ゴルフ場主の加藤さんにごあいさつをいただき生涯学習指導員の佐藤先生のご指導で、まずは簡単にルールやクラブの持ち方を学び、コースにでました。初めは緊張していましたが、だんだん慣れると笑い声と悲鳴に似た声も上がり、ゴールに向かって快音をあげてボールを飛ばすようになりました。楽しく過ごし、次回の希望もありました。

いきいきカレッジ

出前講座で学習

９月17日、堰本いきいきカレッジでは「脳と指先を使って」の学習を行いました。講師はふくしまスポーツプロモーションの本田さんです。楽しく体を動かそう！脳と体のエクササイズ　というサブタイトルで始まりました。右手はグー　左手はパー１、２、３の合図で逆に、といった調子で初めはゆっくり、段々スピードアップ。次は両手の指折り、親指から、小指からと、この頃には歓声が聞こえます。また、自分の両手でジャンケンなど、わかっていてもなかなか動作が追いつかず、つい昔のハサミがでて、大笑いの楽しい学習でした。

消費者トラブルにあわないために

10月15日、伊達市消費者センター職員を講師に、「消費者トラブルにあわないために」のお話を聞きました。高齢者が被害に遭いやすい電話による物品購入トラブルや、なりすまし詐欺に注意する点を話されました。特に還付金詐欺は伊達市でも被害の事例があり、「ATMに行っては100％詐欺」「キャッシュカードは渡さない」など、手作り紙芝居と寸劇で防止と注意を学びました。

【地域の一コマ】

稲穂が黄金色に輝き、刈り取りの時をまっています。

堰本音頭に「秋は田んぼからやってきて～」と歌われています。

この情景がいつまでも残りますように！

２０２０東京オリンピック・パラリンピック開催!!

次は皆のスポーツの秋！

コロナ禍の影響で昨年の開催予定だったオリンピック・パラリンピックは、今年７・８月に開幕されました。県営あづま球場では野球、女子ソフトボールが開催されました。無観客や制限された中で、選手の懸命さにテレビを通して感銘を受けました。

ところで、スポーツの秋ですが、コロナ感染防止のため、私たちの行動が制限されています。

「おうちで運動」「密にならない外での運動」など工夫しながら身体を動かし、体力づくりを心がけましょう！心も体も元気に！

交流館周辺の清掃活動

各種団体に当番を決めて交流館内外の清掃活動を行っています。６月の堰本体育協会を皮切りに、毎月、主に草刈り作業がメインです。

８月実施の各団体の作業風景です。

皆様、大変ありがとうございます。

編集後記

日に２万人を超える感染者が出たコロナ禍で、10月になりようやく全国の緊急事態、まん延防止指定が解除されました。こんなに行動が制限される中で、もうちょっと「我慢」しましょうね！

表紙写真は、中沢町内会の橘内武さん、玲子さんご夫妻。長年、ブドウ栽培をして、収穫間近のブドウ園で収穫の喜びを噛み締めるお二人です。巨峰、シャインマスカット、ピオーネなど多品種を栽培しています。

●せきもとさとづくり推進協議会　活動の記録

消防訓練実施

8月17日、堰本地区交流館の消防訓練を行いました。当日は、火元を交流館内の湯沸し室と想定し、「通報訓練」・「避難訓練」・「消防訓練」を実施しました。伊達地方消防組合中央消防署北分署の署員2名と、伊達市梁川総合支所職員2名の指導を仰ぎ、三役・事務局員9名と、堰本児童クラブの児童や先生方が参加しました。

まず、火災発生の通報訓練から始まりました。事務局員が消防署に「訓練です！堰本地区交流館湯沸かし室から火災が発生。」と電話をかけて消防車の出動をお願いするものです。焦らずに発生場所の所在地を的確に連絡することが重要です。

次に避難訓練です。火元を避けて迅速に建物から脱出します。今回は訓練なので靴を履きましたが、実際に火事の時には靴を履いている暇はありません。命を守る行動が一瞬で決まる時もありますから、靴を履く、荷物を取りに戻るなども危険な動きになります。

全員が外に出て、最後に水消火器による消火訓練を行いました。何人かずつ組んで火元の消火活動を行いました。訓練とはいえ、火災発生の想定なので、全員が緊張した面持ちで真剣に取り組みました。児童クラブの皆さん方のご協力もあり、何とか無事終了しました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

交流館の管理運営をせきもとさとづくり推進協議会に任されていますが、今回の消防訓練を活かして、今後も地域の避難所として信頼されるよう努めていきます。

●敬老祝い品の贈呈

9月20日、鹿の子町内会　志賀忠三郎さん、シズイさんご夫妻に末永明町内会長から敬老祝い品のフェイスタオルが贈呈されました。当日は澁谷会長も同席しました。お二人は地域でも活躍され、お元気に仲良く過ごされています。

堰本地区内に75才以上の方が449人該当し、各町内会長からそれぞれに手渡されました。コロナ禍で敬老会の開催もままならない状況ですが、皆様お元気に過ごされますよう！

（地域安全部会担当）

●里づくりからのお知らせ

堰本文化祭について

隔年実施の堰本文化祭は、昨年コロナ禍を考慮して中止としました。コロナが落ち着けば今年実施と昨年の秋号でお知らせしていましたが、全国的に緊急事態、まん延防止対象が多くある中で（福島県はじめ9月末に解除）、今年も開催を見送りました。来年は隔年に当たる年でもありますので、是非開催にむけていきます。

花いっぱい運動　秋の植栽

パンジー・ビオラ750ポットを、小学校前、ポケットパーク2箇所、新田駅花壇に11月14日に地域振興部会で植栽を予定しています。

来年春の地域彩に、皆さんの目を楽しませてくれますように！

資源回収

10月9日に第2回里づくり女性委員会を開催し、今年の資源回収の取り組みを協議しました。コロナ感染拡大防止及び予防、若い年代のワクチン未接種などの懸念もあり、11月は延期し、今年度末までに実施可能な場合は取り組めるようにします。

お寺さんコラム

「むかし」と「いま」

細谷寺住職　岡本英治

9月末秋晴れ、午前11時。伊達市より感染症注意喚起の管内放送が聞こえます。

さて、明治から大正にかけての凡そ60年間、細谷寺の「過去帳（かこちょう）」を調べる機会がありました。

「過去帳」とはお檀家さんのお戒名、亡くなった年月日や年齢が書き記されている記録簿です。原則として過去帳には必要最小限の情報のみの記載が許され、その他の詳細は残されていません。よって時間が過ぎてゆくに従い、それを紐づけすることは容易ではないのです。

つらつらと過去帳を調べると、大正7年から約4年間、亡くなられた方が非常に多かったのです。その3割強が小さな子どもたちでした。細谷寺は大勢のお檀家さんで構成されているお寺ではありませんが、それでもそのお葬式の件数は驚きでした。

いったい何があったのだろうと歴史背景を調べると、大正7年にスペイン風邪が日本に広まった年だったのです。内務省衛生局の資料には、大正7年8月から10年7月までの3年間に約2380万人の患者が発生し、39万人弱が死亡したとありました。当時の日本の人口は約5500万人で、国民の半数近くが感染したことになるようです。ちなみにあの野口英世博士の母シカ様もスペイン風邪に罹患し65歳で亡くなったとの記録もあります。

このように今みたいな医療や科学が発達していない時代、疫病は恐ろしいものだったことは様々な文献に記されています。果たしてスペイン風邪が堰本地区にどれほど影響があったか、これはあくまでも自分の推測で確証はないのですが、その時代を生きた人々は得体の知れない状況下に恐れおののいたことは間違いありません。

翻って、今。新型コロナウイルスは、医療従事者の方々の尽力、ワクチン接種などが進み、また多くの人たちが緊急に応じた生活を守り、その様子は減少を見せてきました。

しかしながら少なくとも現時点では、まだまだ人間の思うようにならない事態は暫時続き、我慢が必要とされるものでしょう。

先人が懸命に知恵を絞り、繋いでいただいた命が現在の私たちの姿です。過去帳から、その昔の人々の悲しみや切なさ、そして前に進もうとする声が聞こえてきました。

地域の方々紹介

佐々木松次さん

陽光台グラウンドゴルフクラブ会長

陽光台の分譲地に富野から越してきたのが平成12年5月。すぐに息子夫妻も同居し、早20年経ちます。老後をグラウンドゴルフと散歩、毎日の晩酌を楽しみに過ごしています。お酒は焼酎をお湯割にして、今は1杯で十分に楽しんでいます。

親睦会初代会長が平成15年3月に会を立ち上げて、会員を募集しました。その結果、30数名が集まりました。花見、旅行など何回かやってお互いに顔がわかったところに、グラウンドゴルフの話が出ました。そのうち興味のある方は14～15名あったと思います。道具もない、やり方もわからない、会長に道具を紹介してもらい道具を揃えました。初めてグラウンドゴルフをやった日にちは忘れましたが、梁川中学校のグラウンドを借りて何回か練習をやった記憶があります。平成17年2月に陽光台グラウンドゴルフクラブになり、今に至っています。

陽光台緑地公園の荒地を、草刈りや草むしり、除草剤散布をやってグラウンド作りに苦労しました。町にお願いして山砂を運んでもらい、会員みんなで一緒に手入れしました。陽光台の人だけでは会員数が足りないので、興味ありそうな人に声かけてもらい、平成21年度には27名になりました。緑地公園での練習は、最初は1日おきでした。いつの間にか日曜日と雨の日を除いては毎日のように、少々水たまりがあろうが、風が吹こうが、雪が少しあろうが、練習をやりました。どんどん上達して、山形県、宮城県、郡山、福島等に練習に行きました。大会にも参加し優勝すると祝賀会をやりました。

今は、コロナ禍で練習のみで、参加できる大会も少なく、楽しみも減ってしまいました。マスクをしての練習も結構大変です。早く収束して、のびのびとグラウンドゴルフができる日を待っています。現在会員数は14名で、老後の生きがい、健康づくりに一緒にやれる会員募集中です！